

防災・減災や地質リスク テーマに21事例を報告

川崎地質が社内
技術研究発表会

川崎地質は「第75期社内
技術研究発表会」を6月26、
27日の2日間、東京都内で
開いた。写真。会場開催と
オンラインの併用で延べ5
39人が参加。防災・減災
や地質リスク、技術開発、
維持管理をテーマに21事例
を報告した。

最優秀賞に多良賢二氏
（海洋・エネルギー事業部）
の「超高分解能3次元音波
探査システムの開発」、優
秀賞に相澤穂高氏（放射性
廃棄物処分技術室）の「処
分事業における掘削損傷領



域の評価」と藤井一貴氏
（北陸支店）の「R5吉田
バイパス地質調査業務」が
選ばれた。

表彰式後の講評で、栃本
泰浩社長は「われわれの仕
事の本質は技術サービス
業。調査をして地盤を評価
するだけでなく、施工や維

持管理も含めた事業推進に
おける地質的課題を整理
し、地質リスクとして適切
にマネジメントしていくこ
とが重要だ」と述べた。

酒井俊朗技術顧問と徳永
朋祥東京大学教授による特
別講演も行った。

